



## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月4日  
東

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所  
 コード番号 5932 URL <http://www.st-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 清胤  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日~2019年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	251,930	4.5	518	△38.9	765	△41.5	△417	—
2018年5月期第3四半期	241,130	2.4	848	△83.8	1,309	△75.4	228	△92.9

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 △783百万円( —%) 2018年5月期第3四半期 3,445百万円(△40.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	△13.30	—
2018年5月期第3四半期	7.28	5.66

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	267,112	84,854	30.7
2018年5月期	269,260	86,079	31.0

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 81,945百万円 2018年5月期 83,357百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	15.00	—	0.00	15.00
2019年5月期	—	10.00	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日~2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	338,000	2.9	300	△75.0	400	△74.0	△1,400	—	△44.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	31,554,629株	2018年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	180,581株	2018年5月期	176,922株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	31,376,010株	2018年5月期3Q	31,383,052株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における海外経済は、欧州、中国などで減速するとともに、米中貿易摩擦問題の動向や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が継続しました。その中でわが国の経済は、海外経済の動向を受けて輸出の勢いが弱まったものの、内需が堅調に推移したことから、緩やかな伸びとなりました。

このような環境下、当社は将来の市場構造変化に対応する事業ポートフォリオの構築に向け、基本方針を『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』とする2019年5月期から2021年5月期までの中期経営計画を推進し、「収益改善」「成長事業、グローバルシナジーの拡大」「次なる事業領域の開拓」に向けた諸施策を展開いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、建材事業や国際事業での売上の増加、商業施設事業でのコクヨ株式会社のストア事業承継などにより、売上高2,519億30百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、競合環境、資材価格や物流費の高騰、海外での事業環境変化などにより、営業利益5億18百万円（前年同期比38.9%減）、経常利益7億65百万円（前年同期比41.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億17百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億28百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### **建材事業**

建材事業においては、ビル分野での大型物件増、エクステリア分野での需要増や販売強化などにより、売上高1,522億52百万円（前年同期比5.3%増）となりました。利益については、売上の増加や一部商品の価格改定、生産部門の収益改善などにより、セグメント利益7億74百万円（前年同期はセグメント損失16億98百万円）となりました。

#### **マテリアル事業**

マテリアル事業においては、形材市場での在庫調整に伴う受注量の減少などにより、売上高343億45百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益については、形材の受注量減少や形材市場での競合環境などにより、セグメント利益21億22百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

#### **商業施設事業**

商業施設事業においては、2018年1月にコクヨ株式会社のストア事業を承継したことなどにより、売上高298億23百万円（前年同期比7.0%増）となりました。利益については、小売業の新規出店減少やそれを背景とした競合環境、資材価格や物流費の高騰、承継業務引継ぎに係る販管費の発生などにより、セグメント損失81百万円（前年同期はセグメント利益8億83百万円）となりました。

#### **国際事業**

国際事業においては、輸送分野の需要獲得や為替影響などにより、売上高354億18百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益については、欧州経済の減速を背景とする事業環境の変化や、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の条件付取得対価の確定によって追加認識したのれんの過年度分償却が発生したことなどにより、セグメント損失21億82百万円（前年同期はセグメント損失12億11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて21億47百万円減少し、2,671億12百万円となりました。これは、仕掛品等のたな卸資産が41億35百万円、電子記録債権が20億76百万円、それぞれ増加したものの、流動資産その他に含まれる短期預け金が74億72百万円、投資有価証券が14億94百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて9億23百万円減少し、1,822億58百万円となりました。これは、電子記録債務が48億4百万円、短期借入金が23億42百万円、それぞれ増加したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が75億円減少したことが主な要因であります。なお、純資産は848億54百万円、自己資本比率は30.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2018年7月12日に公表いたしました2019年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年4月4日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,689	24,270
受取手形及び売掛金	48,276	49,727
電子記録債権	5,490	7,567
有価証券	858	861
商品及び製品	15,516	16,131
仕掛品	17,358	20,052
原材料及び貯蔵品	10,824	11,650
その他	13,167	5,837
貸倒引当金	△1,160	△1,222
流動資産合計	134,021	134,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,899	24,909
土地	54,319	54,218
その他(純額)	25,982	24,710
有形固定資産合計	106,201	103,837
無形固定資産		
のれん	3,162	3,651
その他	3,711	3,345
無形固定資産合計	6,873	6,996
投資その他の資産		
投資有価証券	18,864	17,369
その他	4,246	4,886
貸倒引当金	△947	△853
投資その他の資産合計	22,163	21,402
固定資産合計	135,239	132,236
資産合計	269,260	267,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,529	43,613
電子記録債務	14,876	19,680
短期借入金	8,818	11,161
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	7,500	—
1年内返済予定の長期借入金	12,321	12,304
未払法人税等	904	635
賞与引当金	381	1,738
引当金	11	36
その他	17,617	17,164
流動負債合計	106,961	106,334
固定負債		
社債	3,000	3,000
転換社債型新株予約権付社債	7,515	7,509
長期借入金	39,539	39,965
役員退職慰労引当金	30	10
製品改修引当金	931	661
退職給付に係る負債	16,702	16,527
資産除去債務	443	449
その他	8,057	7,798
固定負債合計	76,219	75,923
負債合計	183,181	182,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	32,941	32,828
利益剰余金	28,805	28,064
自己株式	△228	△233
株主資本合計	76,518	75,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,794	2,693
繰延ヘッジ損益	△19	△168
土地再評価差額金	3,824	3,834
為替換算調整勘定	△875	△867
退職給付に係る調整累計額	115	794
その他の包括利益累計額合計	6,839	6,286
非支配株主持分	2,721	2,908
純資産合計	86,079	84,854
負債純資産合計	269,260	267,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	241,130	251,930
売上原価	191,457	200,732
売上総利益	49,673	51,198
販売費及び一般管理費	48,824	50,679
営業利益	848	518
営業外収益		
受取利息	21	24
受取配当金	303	302
スクラップ売却益	483	460
持分法による投資利益	244	152
その他	828	833
営業外収益合計	1,881	1,773
営業外費用		
支払利息	361	443
売上割引	687	719
その他	373	362
営業外費用合計	1,421	1,525
経常利益	1,309	765
特別利益		
固定資産売却益	11	20
投資有価証券売却益	292	14
その他	4	2
特別利益合計	308	38
特別損失		
固定資産売却損	149	12
固定資産除却損	249	142
減損損失	22	0
投資有価証券評価損	—	61
特別損失合計	420	216
税金等調整前四半期純利益	1,196	587
法人税等	765	805
四半期純利益又は四半期純損失(△)	430	△217
非支配株主に帰属する四半期純利益	202	199
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	228	△417



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	430	△217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	685	△1,098
繰延ヘッジ損益	26	△148
為替換算調整勘定	858	5
退職給付に係る調整額	1,442	681
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△5
その他の包括利益合計	3,014	△565
四半期包括利益	3,445	△783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,290	△979
非支配株主に係る四半期包括利益	154	195

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	144,585	34,598	27,876	33,962	241,022	107	241,130	—	241,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,267	22,752	116	77	27,214	—	27,214	△27,214	—
計	148,853	57,351	27,992	34,040	268,237	107	268,344	△27,214	241,130
セグメント利益又は 損失(△)	△1,698	2,901	883	△1,211	874	77	951	△103	848

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「商業施設事業」セグメントにおいて、2018年1月1日付けでコクヨ株式会社が行うファニチャー事業のうち、店舗用什器の製造・販売などを行うストア事業を会社分割の方法により承継いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において683百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	152,252	34,345	29,823	35,418	251,839	91	251,930	—	251,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,395	22,739	156	104	27,395	—	27,395	△27,395	—
計	156,647	57,084	29,980	35,523	279,235	91	279,326	△27,395	251,930
セグメント利益又は 損失(△)	774	2,122	△81	△2,182	633	70	704	△185	518

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△200百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の買収時に締結していた株式売買契約に基づく条件付取得対価の支払が確定したことにより、新たにのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの償却額は527百万円、当第3四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は833百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。